

平成28年度 渋川北群馬中学校新人大会 柔道大会 要項

1. 主催 渋川市中学校体育連盟 渋川市教育委員会 榛東村教育委員会 吉岡町教育委員会
2. 日時 平成28年 10月 1日(土)
8時00分 開場・準備・集合・計量
9時10分 審判及び監督会議
9時25分 開会式
9時40分 試合開始
3. 会場 渋川市武道館(0279-24-7878)
4. 審判規定 I J F 試合審判規定(2014 施行の新ルール)および「少年大会申し合せ事項」による。団体戦の判定基準は「有効」又は「指導2以上の差」以上とする。団体戦の代表戦の場合は必ず勝敗を決する。準決勝からGS(無制限)を行う。なお、代表戦は任意に選出することとする。
5. 選手 ○男子団体戦は各学校単位編成で、監督1名、選手5名、補員2名とする。
○女子団体戦は各学校単位編成で、監督1名、選手3名、補員1名とする。
○選手の編成は体重の最も重い者を主将とし、以下順次体重順に編成する。選手が男子5名、女子3名に満たない場合も同様に編成し間に欠員をおいてはならない。また、補員を入れるときは順次編成替えをする。補員の充当により抜けた選手は以後の試合に再び出場できない。
6. 試合時間 3分
7. 試合方法
大会参加チームが6チーム以上の場合、2組の予選リーグ戦を行い、各組上位チームによるトーナメント戦により、順位を決定する。大会参加校が5チーム以下の場合、リーグ戦を行い順位を決定する。
 - ・リーグ戦の勝ちチームは、次の順によって決定する。
 - ア: チーム間における勝ち、引き分、負けの率による。
 - イ: アにおいて同率の場合は、勝ち点の合計による。
 - ウ: イにおいて合計得点が同等の場合は、勝ち点の内容により決定する。
 - エ: ウにおいて同等の場合は、負け数とその内容により決定する。
 - オ: エにおいて同等の場合は、代表戦により決定する。
 - ・トーナメント戦の勝ちチームは、次の順によって決定する。
 - ア: チーム間の勝ち点の合計による。
 - イ: アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ: イにおいて同等の場合は、代表戦により決定する。
8. 表彰 渋川北群馬中学校体育連盟諸規定、第8条により表彰する。
男女団体戦は、3位までの上位チームとする。
9. 代表資格 ○男子2校、女子2校が、県大会に進出する。
○中学生らしい服装や態度で試合にのぞむこと。
(柔道精神に反するようなこと動作を行うこと)
○選手・監督・コーチはもちろんのこと、応援者においても、大会運営の妨げにな

るような言動は慎む。

○やむを得ない理由で大会前に選手が出場出来なくなった場合の選手変更は、選手変更願を提出する。

10. その他

・脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

11. 連絡先

〒379-1124 渋川市赤城町滝沢191番地1

渋川市立赤城南中学校 小實 研介

TEL 0279-56-2321

FAX 0279-56-2377

大会役員

大会会長 関 聡

競技委員長 疋田 克彦

副競技委員長 小實 研介 小畑 弥富

審判長 群馬県柔道連盟北群馬渋川支部

審判 渋川北群馬中体連 渋川北群馬柔道連盟

計量・検査 小畑 弥富 椛澤 文美 新井 真生

会場・進行 森瀬 伸二 岡田 英樹 松岡 大樹

椛澤 文美 吉田 直子 佐藤 裕一

佐藤 久江 橋詰 倫典 青柳 和宏

記録・賞状 唐澤 忍 阿部 明子 鳶島 哲夫

受付 関口真由美 藤田 暁子 阿久津 彩

救護 三原 千枝子

計時 渋川北群馬中学校柔道部員